

令和2年12月22日

只見町議会議長 大塚 純一郎 様

経済文教常任委員会
委員長 鈴木 好行

経済文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

記

1. 所管事務調査事項

- (1) 地域産業の振興に関する調査
- (2) 生活環境の振興に関する調査
- (3) 教育の振興に関する調査
- (4) 観光施設、交流施設の設置目的の検証と利活用に関する調査
- (5) JR只見線と国道289号八十里越の開通を見据えた利活用に関する調査
- (6) 新型コロナウイルスによる経済影響に関する調査

2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 所管事務に関する調査
- (2) 調査方法 事務調査、現地調査
- (3) 調査日 9月30日、10月30日、11月26日、12月8日
- (4) 出席委員 鈴木好行委員長、矢沢明伸副委員長、小沼信孝委員、
酒井正吉郎委員、菅家忠委員、佐藤孝義委員

3. 調査結果及び意見

付託を受けた「亀岡多目的広場の環境整備に関する陳情書」に対する審査において、当局の意見や陳情者への聞き取り、現地調査を実施し、亀岡多目的広場の管理者の高齢化や少人数化等の問題を加味し、本陳情は妥当であるとの理由から採択すべきものとした。また、他の公共施設の管理においても同様の問題が考えられることから、全町的な問題として捉えるよう意見を付した。

「道の駅」基本計画策定の進捗状況の調査については、「道の駅」基本構想の内容や検討委員会の経過説明を受けるとともに、住民意見を伺いながら実施している。今後も検討委員会の報告等に注視し、調査を継続する。

さらに、鳥獣被害対策については、補助の充実やパトロールの実施により、駆除頭数が増えるなど効果が確認できた。しかしながら、農作物被害の実態の把握や次年度以降も必要な対策であり、引き続き効果の検証とともに、有効な被害対策を調査することとした。

以上